

平成26年（ネ）第126号 大飯原発3，4号機運転差止請求控訴事件

一審原告 松田正 外184名

一審被告 関西電力株式会社

証 拠 説 明 書

(島崎尋問関係 甲439号証～450号証)

平成29年2月28日

名古屋高等裁判所金沢支部民事部第1部C1係 御中

一審原告ら訴訟代理人弁護士 佐藤辰弥

同 弁護士 笠原一浩

ほか

*以下はすべて写しである。

号 証	標 目 (原本・写しの別)	作 成 年月日	作成者	立 証 趣 旨	備考
甲439	日本活断層学会2014年秋季学術大会プログラム http://danso.env.nagoya-u.ac.jp/jsafr/taikai/2014/pdf/2014fall_taikai.pdf	H26.10	日本活断層学会	島崎邦彦氏が2014年秋季学術大会において、学会賞受賞記念講演として「事前評価と経験則：断層の長さや震源の大きさ」という表題で講演をしたこと	
甲440	「2011年東北地方太平洋沖地震の震源モデルのポストディクシオン」 http://www2.jpgu.org/meeting/2012/html5/PDF/S-SS37/SS37-09.pdf	H26.4	三宅弘恵 瀧瀬一起	ポストディクシオンの定義	
甲441	「〔新編〕日本の活断層—分布図と資料」 抜粋 「71 岐阜」	1991.3.25	藤田和夫 ほか編	1891年濃尾地震の断層長さ	
甲442	活断層研究 17 43~53 1998 「活断層はどこまで割れるのか？—横ずれの分岐形態と縦ずれ分布に着目したセグメント区分モデル—」	1998	中田高 後藤秀昭	1995年兵庫県南部地震の断層長さ	

号 証	標 目 (原本・写しの別)	作 成 年月日	作成者	立 証 趣 旨	備考
	https://www.jstage.jst.go.jp/article/afr1985/1998/17/1998_43/_pdf				
甲 4 4 3	平成28年(2016年)熊本地震の評価 http://www.static.jishin.go.jp/resource/monthly/2016/2016_kumamoto_3.pdf	H28.5.13	地震調査 研究推進 本部地震 調査委員 会	熊本地震の震源断層モデル等	
甲 4 4 4	2016年熊本地震の地表地震断層の分布とその特徴 http://cais.gsi.go.jp/YOCHIREN/activity/211/image211/044.pdf	H28.4	熊原康博	熊本地震の地表地震断層の長さ	
甲 4 4 5	平成28年熊本地震で出現した(地表)地震断層調査概報 http://committees.jsce.or.jp/eec2/system/files/20160427yoshimi%E5%B7%AE%E6%9B%BF%E3%81%88s.pdf	H28.4	吉見雅行	熊本地震の地表地震断層の長さ	
甲 4 4 6	平成25年(ワ)第515号、第1476号、第1477号 意見書 (抜粋) 表紙から3頁	H27.3.28	島崎邦彦	島崎邦彦氏の経歴等	
甲 4 4 7	地震第2輯第28巻(1975)269-283「活断層から発生する地震の規模と周期について」 https://www.jstage.jst.go.jp/article/zisin1948/28/3/28_3_269/_pdf	S50	松田時彦	1891年濃尾地震の断層長さについての見解	
甲 4 4 8	日本地震工学会論文集第15巻、第7号(特集号)「強震動記録を用いた震源インバージョンに基づく国内の内陸地殻内地震の震源パラメータのスケールリング則の再検討」 https://www.jstage.jst.go.jp/article/jaee/15/7/15_7_141/_pdf	2015	宮腰研、 入倉孝次 郎、釜江 克宏	入倉氏が島崎氏を批判する際に依拠している論文の内容	

号 証	標 目 (原本・写しの別)	作 成 年月日	作成者	立 証 趣 旨	備考
甲 4 4 9	入倉孝次郎氏 HP 掲載： 岩波科学 2016 年 7 月号 の島崎邦彦氏の「最大ク ラスではない日本海『最 大クラス』の津波一過ち を糾さないままでは『想 定外』の災害が再生産さ れる」へのコメント <a href="http://www.kojiro-iriku
ra.jp/pdf/iwanamikagaku
-comment-Jul13-2016.pd
f">http://www.kojiro-iriku ra.jp/pdf/iwanamikagaku -comment-Jul13-2016.pd f	2016.7.13	入倉孝次 郎	入倉氏は、島崎氏の見解を正解し ないまま「恣意的」等と論難して いること	